

辰野町の道路を考えるワークショップが始まりました。

国道153号を中心に、辰野町の『道路のあり方を考える』ワークショップが、10月21日から始まりました。このワークショップでは、北大出、羽場、新町、宮木、小横川、宮所、上辰野、今村、上島の9区から代表の皆様にご参加頂き、辰野町の将来を見据えた道路のあり方や整備方法を役場と一緒に考え、話し合います。

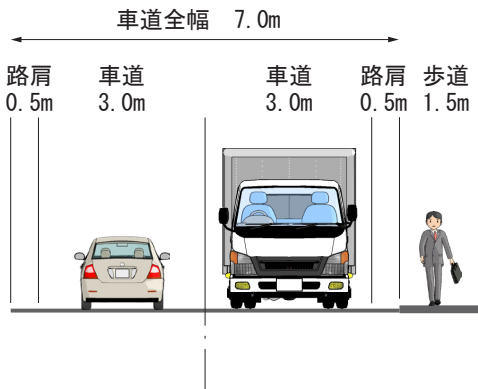
このワークショップニュースは、話し合いの経過や道路に関する情報を、地域の皆様にお届けします。

第1回ワークショップの報告

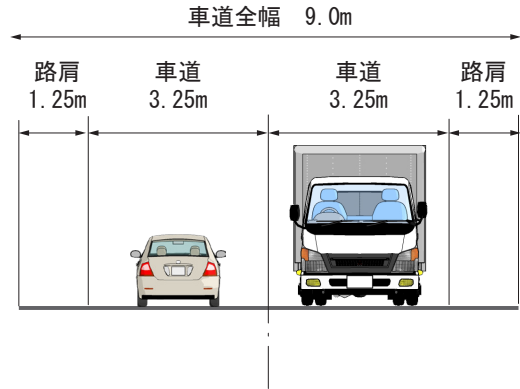
第1回目のワークショップでは、テーマを『現状を把握し、道路のあり方考える』として、地域の道路状況を確認し、参加者全員で情報を共有すると同時に、道路の将来像について話し合いました。

国道153号の現状の道路幅

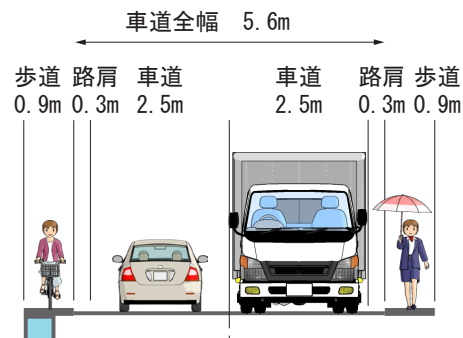
【標準的の幅員】



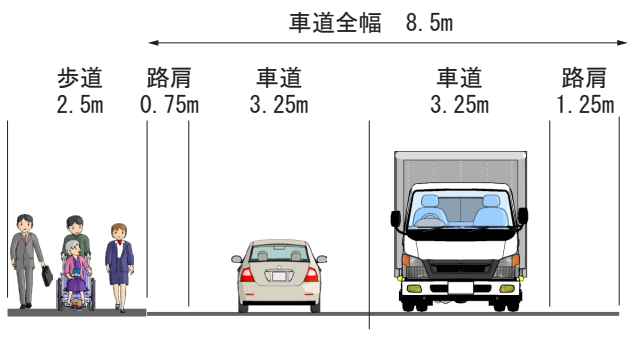
道路構造例による道路幅の基準（参考）



【最も狭い箇所…小横川入口交差点付近】



【徳本水付近】



WSの成果

5つのグループは、各グループに9区それぞれから参加し、辰野町の道路の将来像について話し合い、大きくまとめると以下の5つの事がらが導き出されました。
◎はグループで話され、上位に位置づけられたもの。○は意見を集約して表現したもの

安心して安全に利用できる道路

- ◎人にやさしい道路
- ◎車と人が共存できる道路
- ◎安心安全な道路
- 車、自転車、歩行者の分離
- 地域住民が安心して利用できる道路

役割の明確な道路

- ◎幹線道路と生活道路の目的をはっきりさせる
- ◎非常時の通行確保

機能性の高い道路

- ◎将来を見据えた道路
- ◎町の活性化のための道路計画
- ◎153号線の拡幅・バイパス
- スムーズな通行が出来る道路
- 使い勝手の良い道路
- 環境の良い道路

連続性の高い道路

- ◎つながりの良い道路
- 伊北インターチェンジを活かす道路

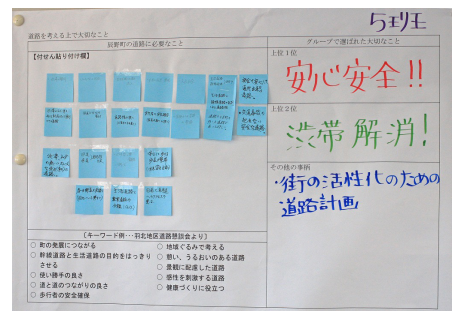
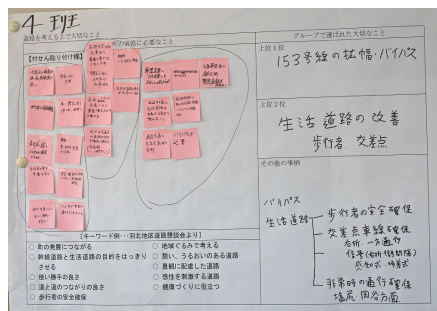
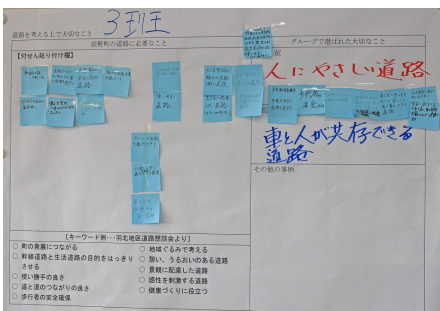
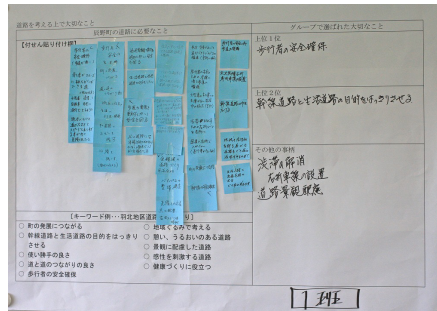
現実的な道路計画

- 現実に即した道路

【まとめ】

- ・安心、安全に利用できる道路とするために、役割を明確にすることが重要。
- ・生活道路、幹線道路それぞれの役割に応じ、道の連続性や利便性を高め、住民の安心と町の発展につながる道路を考えること。
- ・将来像と現実を段階的に考え、現状の課題を解決する方策を早期に実現すること。

◇ワークショップの様子と各グループの成果



今後の予定	回	テーマ	内容
	2	『課題とその要因について考える』	・地域や町全体で、道路について困っていることや気になっていることを明らかにし、その原因を探ります。
	3	『どのような道路にするか考える』	・課題の解決方法と優先度について考えます。 ・地域としての整備方針を考えます。
	4	『地域としてどのように整備するかを考える』	・地域として、どのように整備していくのが良いか考えます。 ・整備の順番や道路の利用方法について考えます。
	5	『全体を確認する』	・整備効果を考慮した優先順位について全体で確認します。

発行及び問合せ先：辰野町役場 建設水道課
編集：株式会社ワイド 伊那市山寺 316

電話 (41)1111(代表)
電話 0265(78)7533(代表)